

事業概要

補助事業番号 21-1-016

補助事業名 平成21年度 自転車イベント振興 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 サイクリストビュー

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

サイクルスポーツの啓発普及およびイベントの振興のため、島根県の自然を活かした地点往還グランfond・ロングライドや、手つかずの山林道をそのまま活用するヒルクライムレースなど、全国のサイクリストが気軽に参加できる大会を毎年開催することにより認知度を高め、国内外からの有名プロ選手を招待し、よりサイクリストに魅力的な事業となるよう、また、島根県にとどまらず全国各地で同じような大会を開催することにより、日本全体のサイクリストの拡大・発展、サイクルスポーツ事業の振興をもって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

ア. 石見グランfond2009

昨年までは、日本初の地点往還グランfondで、二日間で300km（一日目170km 二日目130km）を走破するとして親しまれた大会ではあったが、本年より、より本格的なグランfondを志向する為と、運営スタッフの本来の仕事の都合上、1日開催とする。但し、最長距離は200キロ、累積標高は3,000メートルを超えるという、全国でも屈指の本格的なグランfondをして大会を行う。開催日は5月の10日(日)。島根県西部の石見地方3市4町の一般道路を利用し、中上級者向けサイクリング大会を開催した。本年の大会は、前年度参加総数361名を越えないものの、1日の参加人数では過去最高の268名の参加となり、多くのサイクリスト達が、過疎と財政難で貧窮する市町を颯爽と駆け抜けた。大会当日は快晴。大会はトラブルもなく、事故やケガも全くなく盛会にて終了する。初めての本格的なグランfondではあったが、コースを3コースにセパレートしており、チェックポイントの制限によって140キロ、180キロにコース変更できるような選択肢を設定した結果、リタイア者はわずかで満

足度の高い大会となった。

200 キロコース：完走者 58 名 180 キロコース：完走者 97 名

140 キロコース：完走者 87 名 リタイヤ：11 名 当日欠席：15 名 合計 268 名

また、参加者のうち島根県参加者は 65 名で、県外比率は 75.7%と県外比率も高く、宿泊・食事等で地域経済を大きく潤す事になった。

イ. 飯南ヒルクライム 2009

島根県東部の広島県境に位置する飯南町の全長 12.5 km 高低差 450 m で農道や林道を利用した標高 1050 m のゴールを目指す中国地区最大級のロードヒルクライムレースであった。参加人数は中国地方を中心に昨年上回る 162 名の参加。県内参加者 42 名、県外参加者 110 名であり、県外比率も 67.9%と高いものとなった。当日は曇りとなり、大会終了後に激しい雨模様になった。今年は、昨今の気象異変等もあって、コース途中が崖崩れ等もあって、コースの修復と変更等が直前まで問われる部分もあったが、大会自体は問題なく終了した。スタート時では、毎年恒例の山崎町長より「この大会は飯南町の名物にすべく、今後とも町を挙げて継続開催をしていくとのコメントを参加者に頂戴した。また、クラス別では 5 クラスとも白熱した熱戦が繰り広げられた。

ウ. 出雲路センチュリーライド 2009

縁結びの地として知られる、島根県東部の出雲路広域 3 市 2 町の一般道路を利用した一日で 160 km のロングライド型サイクリング大会を開催。コースは、本年度大幅に変更し、雲南市を回るコースにして、アップダウンを軽減し、比較的平易で、比較的、初級者でも走破可能なコース設定した。今回は、昨年を遙かにしのぐ参加者があり、前年の参加者数を大きく上回った。昨年対比で 108.2%という伸び率となり、名実ともに中国地方最大級のサイクリングイベントとなった。

参加申込総数 528 名 県外比率 78.4%

当日参加者数 465 名 リタイヤ数 66 名 完走率 85.8%

都道府県別参加者数

北海道 1名 岩手県 1名

東京都 21名 神奈川県 9名 埼玉県 4名 千葉県 3名 群馬県 1名

愛知県 5名 静岡県 3名 三重県 3名 福井県 1名 岐阜県 1名 長野県 1名

兵庫県 53名 大阪府 42名 京都府 12名 奈良県 11名 和歌山県 2名 滋賀県
1名

島根県 114名 広島県 93名 岡山県 57名 鳥取県 49名 山口県 14名

香川県 7名 愛媛県 5名

福岡県 6名 熊本県 4名 長崎県 3名 鹿児島県 1名

エ. 雲南サイクルチャレンジ 2009

島根県東部の中山間地域に位置する雲南市にて4回目となるサイクルイベントを開催する。本年は前年よりも趣向を変え、より雲南市の魅力を感じられる大会に企画変更した。1日目は、雲南市のこどもたちに自転車の楽しみを指導する「雲南キッズバイクチャレンジ」と、シクロクロス中国九州地区のプロローグ、マウンテンバイクのエントリー（耐久レース）を開催した。

2日目は、日本でもまだ珍しい、本格的なグルメフォンド（食べ歩きサイクリング）を開催。雲南市は、安全安心な食材の宝庫でもあり、その土地の、魅力を最大限生かし、自転車と共に楽しんでいただきたいとの思いから開催した。最終参加者は昨年より微増ではあるものの、県外からの参加者が顕著に増えていた。遠く沖縄からも参加があったことは、大会の発展の光明ともいえることである。但し、1日目の耐久レースは、全国的にマウンテンバイクの人气が下降傾向にあるため、やむを得ない部分もあった。来年度はグルメフォンドの更なる認知拡大を図り、参加者増を目指していく。

種目別参加者数

雲南キッズチャレンジ 6名 島根シクロクロス雲南 4名

MTB耐久レース 10名 雲南グルメファンド 38名

昨年対比 116% 最終参加者数：58名

2. 予想される事業実施効果

ア. 石見グランfond2009：

石見地方の3市3町のシンボルでもある世界遺産「石見銀山」周辺を走る唯一のグランfondとして、認知は完全に全国区となり、次年度以降は、より参加者が増えるよう魅力あふれるコースメイクを企画していく。具体的には、これまでなし得なかった周回コースの設定を行い、スタート・ゴールを同一化することで、参加者の利便性を高め、スケジュールに余裕を持って参加できるよう配慮する事や、受け入れ体制のさらなる拡充である。また、年々地元経済界にも認知と理解がされつつあるので、経済界との連携も模索していく次年度になると思われる。

イ. 飯南ヒルクライム2009：

飯南町で3年目となるヒルクライムレースであったが、本年は参加者も順調にアップし、飯南町内の評判も昨年同様大変良いものであった。大会の前後でもコースを楽しもうと町を訪れるサイクリストも増え、地域が自転車による地域振興に大いなる期待をもっている。事実、この大会を契機に、自転車で町おこしを始めた企業も出現し、地域経済が疲弊した中山間地域の田舎町に、自転車という希望の光を提供している。今後はよりいっそう飯南町の自転車振興に貢献したい。

ウ. 2009出雲路センチュリーライド：

本年よりセンチュリーライドとして、よりロングライドを楽しめるよう、コースを大幅に変更して、比較的アップダウンの少ない内容にして開催したところ、昨年度をさらに上回る528名の参加があって、本年の全ての事業では過去最多の参加人数となった。また、一昨年オープンしたサテライト山陰とも本大会と競輪とのコラボレーションを検討し、次年度では、競輪のPRブ

ース。グッズ配布などの連携も実施検討する段階に入った。また関連する松江市、出雲市といった自治体や松江商工会議所といった経済界でも、注目され、確実に評価されるイベントになってきており、出雲路広域の代表的な町おこしイベントとしてさらなる成長していく事は間違いない。

エ. 雲南サイクルチャレンジ2009 :

大会参加者数は昨年よりは微増であり、昨今のマウンテンバイクの人気低下による影響が大きいを半田せざるを得ないし、まだまだ満足できる規模にはほど遠いものがある。しかしながら、雲南らしい新しい企画として、日本ではまだまだ珍しい「グルメフォンド」を開催でき、手応えを感じたことは大きな収穫だった。自治体も、地域の経済界もこのグルメフォンドをおらが町の人気大会にしようと非常に前向きな意見を頂戴したので、地域としっかり連携し、日本屈指のグルメフォンドに育てていきたいと思っている。

3. 本事業により作成した印刷物等

①石見グランフォンド2009

開催告知チラシ（印刷枚数30,000枚）

開催告知ポスター（印刷枚数500枚）

②飯南ヒルクライム2009

開催告知チラシ（印刷枚数 5,000 枚）

開催告知ポスター（印刷枚数 400 枚）

③出雲路センチュリーライド2009

開催告知チラシ（印刷枚数9,000枚）

開催告知ポスター（印刷枚数1,000枚）

④雲南サイクルチャレンジ2009

開催告知チラシ（印刷枚数5,000枚）

開催告知ポスター（印刷枚数500枚）

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 特定非営利活動法人サイクリストビュー
住 所 : 690-0044
島根県松江市浜乃木六丁目26番5号
代 表 者 : 代表理事 森脇 博史 (モリワキヒロシ)
担当部署 : 本部(ホンブ)
担当者名 : 代表理事 森脇 博史 (モリワキヒロシ)
電話番号 : 0852-21-3920
F A X : 0852-21-3904
E-mail : infoncv@plusvalue.co.jp
U R L : www.plusvalue.co.jp/cyclistview